学校番号	T0104

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	「政治経済」（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会で学んだことをベースに、日本だけでなく国際的な政治・経済体制について学ぶことで豊かな国際人としての資質を養う。
また、選挙権年齢の引き下げにともない、選挙のしくみや政党・候補者の情報の集め方などについても授業で取り上げ、主権者として積極的に政治に参加しようという姿勢を育む。
その他、ニュースや新聞なども活用し、身近な事例なども取り上げながら、政治や経済に関する興味・関心を持たせる。

2　学習の到達目標

・現代社会における政治や経済、国際関係などについて客観的に理解する
・国際社会におけるさまざまな課題について主体的に考察でき、公正に判断することができる
・選挙や政治に関する正しい知識を得るとともに、主権者としての自覚を持ち主体的に考察・判断することができる

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	国際社会で起こるさまざまな事象に関して興味・関心を持ち、主体的にかつ積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。	選挙制度や消費者問題などについて独自の視点で考察し、その考えを文章などで的確に表現することができる。	調べ学習やレポートなどにおいて、新聞・インターネットなどを用いて自分が必要とする情報を得ることができる。	日本・世界の政治のしくみや戦後の日本経済のあゆみについて正しい知識を得るとともに、問題の本質を理解できている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(4月～9月)	民主政治の基本原理	・民主政治の成立 ・現代の民主政治 ・世界のおもな政治体制	○ ○	 ○ ○	 ○ 	○ ○	a:民主政治の成立や世界のおもな政治体制について興味・関心を持てている b:民主政治のあり方や各国の政治体制について自分なりの考えを持つことができる c:ファシズムに関する資料などから適切な情報を得ることができる d:民主政治の成立や世界の政治体制に関する正しい知識を身につけている	定期考査 ワークシート
	現代政治の特質と課題	・選挙と政治意識 (調べ学習、レポート作成を実施) ・世論と政治参加	○ ○	○ 	○ 	 ○	a:選挙のしくみや政党について主権者の立場から興味・関心を持てているか b:他者が調べた情報から適切なものを選択し、それをもとに自分の意見を持てているか c:調べ学習の過程で適切な資料を選び出すことができているか d:選挙のしくみや政治参加のあり方に関する正しい知識を得られているか	定期考査 ワークシート レポート
後期(10月～3月)	日本経済の発展と産業構造の変化	・経済再建から高度成長へ ・オイルショック後の日本経済 ・日本経済の現状	 ○ ○	 ○	 ○ 	○ 	a:日本経済の現状やバブル経済の状況などについて興味・関心を持てているか b:日本経済の現状について問題点を見出しそれに対する対策などを考え出せているか c:戦後の日本経済の様子についてＤＶＤなどから必要な情報を入手できている d:戦後の日本経済のあゆみについて、外国との関わりなどについて正しい知識を得られているか	定期考査 ワークシート

	福祉社会と日本経済の課題	・公害と環境保全 ・消費者問題	 ○	○ 	○ ○	 ○	a:消費者問題について、身近な例に触れながら興味・関心を持てているか b:持続可能な発展の実現に向けて身近で自分が出来ることを考えられているか c:公害や消費者問題に関する資料をもとに適切な情報を得られているか d:公害の歴史や消費者問題のケースについて正確な知識を得られているか	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。